

A 型肝炎ワクチン Hepatitis A Vaccine

予防接種は過去 50 年間、カナダにおいて他のどの健康対策よりも多くの命を救ってきました。

A 型肝炎ワクチンとは何か?

A 型肝炎ワクチンは、A 型肝炎ウイルスによる感染から身を守るワクチンです。このワクチンは、カナダ保健省により承認されています。

誰が A 型肝炎ワクチンを受けるべきか?

A 型肝炎ワクチンは、生後 6 か月以上の方が接種することができます。通常 6 ヶ月開けて 2 回接種します。

A 型肝炎ワクチンは、以下に該当する感染リスクが高い方および重症化するリスクが高い方に、無料で提供されています：

- 血友病を患っている、または血液や血液製剤を繰り返し注入している方
- 違法薬物の注射や、薬物を吸引、喫煙、注射する器具を共有している方
- 男性同士でと性行為を行う方
- HIV、B 型肝炎または C 型肝炎感染症、あるいは慢性肝疾患のある方
- 幹細胞移植を受けた方
- 肝移植を受ける、または受けた方
- 刑務所にいる受刑者
- A 型肝炎ウイルス感染者(同じ家の居住者、性的パートナー、親しい友人、同じ保育所の子供など)と密接に接触している方
- A 型肝炎感染症を患う食品取扱者が調理した食品を食べたことがある方
- 生後 6 か月から 18 歳の先住民族の子供と青年。乳児は、生後 6 か月に 1 回目を、生後 18 か月に 2 回目を接種します。それよりも年上の子供は、少なくとも 6 ヶ月開けてワクチンを 2 回接種しなければなりません。

HIV 感染者は、ワクチンを 3 回接種する必要があります。2 回目は、1 回目接種から 1 ヶ月後に接種します。3 回目は、5 ヶ月後に接種します。

A 型肝炎ウイルスに曝された可能性がある場合、病気を予防するために曝露から 14 日以内に 1 回目のワクチンを接種する必要があります。この場合、ワクチンは無料で提供されます。

下記に該当する A 型肝炎ウイルスに接触したり、感染する可能性がある方への、ワクチン接種も推奨されていますが、無料で提供はされません：

- A 型肝炎が流行している国、特に地方に住んでいる、働いている、または旅行している方
- A 型肝炎が流行している国からの養子縁組による子供たちの家庭または密接な接触がある方
- A 型肝炎が流行している国からの移民者
- 食品取扱者
- 複数の性交パートナーを持つ方
- A 型肝炎感染が進行中の発達障害者の世話をする施設の居住者と従業員
- 人以外の霊長類を扱う動物園の飼育係、獣医、研究者
- A 型肝炎ウイルスの研究、または A 型肝炎ワクチンの生産に携わる方

全ての予防接種を記録することは重要です。

A 型肝炎ワクチン接種による利点とは何か?

ワクチンは、A 型肝炎感染から身を守るための最適な方法です。ワクチンを接種することで、周りの人を保護するのにも役立ちます。

ワクチン接種後に起こりうる副作用とは?

ワクチンは非常に安全です。A 型肝炎に感染するよりもワクチ

ンを接種する方がはるかに安全です。

ワクチンによる一般的な副作用には、ワクチン接種箇所の痛み、赤み、腫れなどがあります。ワクチン接種後、頭痛、倦怠感、発熱、吐き気、嘔吐および下痢が発生する場合があります。これらの副作用は軽度で、通常 1 日から 2 日続きます。

発熱や痛みがある場合、アセトアミノフェン(例：タイレノール®)またはイブプロフェン(例：アドビル®)を服用することができます。

ASA(例: アスピリン®)は、ライ症候群のリスクがあるため、18 歳未満の方は服用しないでください。

ライ症候群の詳細は、[ヘルスリンク BC ファイル # 84 ライ症候群](#)を参照ください。

100 万人に 1 人未満の割合と、アナフィラキシーと呼ばれる命に関わるアレルギー反応がでる可能性は非常にまれですが、反応が出た場合に備え、ワクチン接種後 15 分間は診療所にいることが重要です。アナフィラキシーの症状として、蕁麻疹、呼吸困難、咽喉、舌、唇の腫れなどがあります。これらの症状が出た場合、医療提供者は治療することができます。緊急治療にはエピネフリン(アドレナリン)の投与と救急車での最寄りの救急科への搬送が含まれます。診療所を出た後に症状が出た場合、**9-1-1** または地域の緊急電話番号にお電話ください。

重度または予期しない副作用が出た場合は常に、医療提供者に報告することが重要です。

ワクチンを接種するべきでない人とは？

以前接種した A 型肝炎ワクチン、またはネオマイシン、またはラテックスなどのワクチンに対して生命を脅かす副作用が出た場合、医療提供者にご相談ください。

風邪やその他軽度の病気を理由に予防接種を遅らせる必要はありません。ただし、心配な場合は、医療提供者に相談してください。

A 型肝炎とは何か？

A 型肝炎は肝臓を襲うウイルスです。A 型肝炎の症状には、倦怠感、発熱、吐き気、嘔吐、食欲不振、腹痛、暗色尿、白色便、黄疸（皮膚や目が黄色くなること）などがあります。感染しても、特に幼児は、症状が現れない場合があります。A 型肝炎感染により死に至ることはほぼなく、死亡率は、ウイルス感染者の約 200 人に 1 人です。A 型肝炎感染によって死亡するリスクは、50 歳以上の方が高くなります。

A 型肝炎はどのように拡散するのか？

A 型肝炎ウイルスは、感染者の排便(排泄物)に見られます。トイレを使用した A 型肝炎感染者がきちんと手洗いをしない場合、食事の準備やそれ以外でも手から口への接触によってウイルスを他の人に感染させる可能性があります。この病気は、性的接触や、注射やパイプなどの違法薬物使用で使われる器具を共有することによって感染が拡大する可能性もあります。

A 型肝炎は、汚染された水を飲んだり、下水で汚染されたカニ、アサリ、カキ、ムール貝などの生または十分に調理されていない貝を食べることによって感染が広がる場合もあります。

成熟した未成年者の同意

予防接種の同意について、ご両親または保護者の方とお子様で話し合うことが推奨されています。それぞれのワクチンによる恩恵と起こりうる副作用、および予防接種を受けない場合のリスクが理解できる 19 歳未満の子供は、法的にワクチン接種に対し、同意あるいは、拒否することができます。成熟した未成年者の同意の詳細については、[ヘルスリンク BC ファイル # 119 乳幼児法、成熟した未成年者の同意および予防接種](#)をご確認ください。

予防接種に関する詳細には、[予防接種 BC https://immunizebc.ca/](https://immunizebc.ca/)をご覧ください。

